



# かわら版

12号



2023年度の『大腸がん検診』につきましては裏面をご覧ください。

研究班  
診断委員長  
からのご挨拶

## 皆さまの検査情報を大切に扱っています

研究ご参加者の皆さま、はじめまして。

本研究の診断委員会委員長を拝命しております石田と申します。

今まで10回以上にわたって本研究の診断委員会を開催し、皆さまが受けた検査(主に内視鏡検査)による診断の妥当性評価などをしてまいりました。病院で直接検査をしてくださる先生方だけでなく、私を含めた5名の診断委員も、本研究の結果が

科学的に正しく導かれるよう、裏方としてサポートさせていただいております。おそらく皆さまがお考えになられている以上に、皆さまの検査結果は科学的・臨床的に大切なものです。



また、皆さんに毎年ご記入いただいている健康アンケートも、検査情報を収集する端緒や裏付けとしての重要な役割を担っています。ぜひ今後ともご協力をお願いいたします。

昭和大学 横浜市北部病院 消化器センター 教授  
『大腸がん検診の研究(比較試験)』診断委員長・分担研究者  
石田 文生



実際の診断委員会の様子

研究の進捗の  
ご報告

## 最終結果の公表に向けて一步一步進んでいます

ご参加の皆さまは研究に多大な貢献をしています

2009年に参加者の募集が始まったこの研究も、皆さまのご協力によって2016年に募集が無事に完了しました。2025年度までは、国の研究費が続くかぎり参加者皆さまへの大腸がん検診の無料提供を予定しております。そして研究結果の最終的な公表は、統計などのさまざまな状況を鑑みて2027年以降を予定しています。「ずいぶんと先の話ではないか」とご心配に思われるかもしれませんが、それだけ長い時間をかけてでもやり遂げる価値がある研究とご理解いただけましたら幸いです。

皆さまには本研究に参加していることを誇りに

思っただけだと、研究スタッフとしても大変嬉しく思います。たとえ、研究のことをお忘れになったり、ご事情があって検診の受診や毎年のアンケートの提出が難しくなってしまったとしても、皆さまの貢献が失われるわけではありません。研究の情報はがん登録などの公的な情報源も通じて集めさせていただいており、当初の皆さまのご協力こそが、本研究の多大な貢献となっております。改めて感謝申し上げます。



### 健康アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます

皆さまには毎年『大腸がん検診の研究 健康アンケート』を送付させていただいております。

現在まで毎年平均して8割以上の方からご返信をいただいております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。研究の信頼性の向上に繋がる大切な情報となります。ご負担にならない範囲で、引き続きご協力のほど何卒よろしくをお願いいたします。

